

篠田はピザの注文をするために、ピザ屋に電話をかけた。

「ありがとうございます。ピザーラ湘南台店です」

「注文をお願いしたいんですけど」

「ありがとうございます。それではご住所とお名前とお電話番号をお願いします」

「藤沢市湘南台三―八―三十三シラネハイム八〇三号室の篠田です。電話番号は、八八―一―三八三八です」

「確認させていただきます。ご住所が藤沢市湘南台三―八―三十三シラネハイム八〇三号室の篠田様ですね。お電話番号が八八―一―三八三八でよろしいでしょうか？」

「はい、そうです」

「それでは、ご注文をお願いします」

「ハワイアンデライトのLサイズを一つ、スタッフスのLサイズを一つ、スパゲッティサラダを一つ、フライドポテトを一つお願いします。それにピザの追加のトッピングが、ハワイアンデライトの方にホタテとハム、スタッフスの方にはスイートコーンとパセリとソーセージをお願いします」

「はい、かしこまりました。生地タイプは薄型のクリスピーと厚手のハンドトスがございますが、どちらがよろしいですか？」

「ハンドトスをお願いします」

「かしこまりました。それから、ただ今キャンペーンをやっております、ピザMサイズで一本、Lサイズで二本、ドリンクをサービスさせていただいております。お客様の場合Lサイズ二枚のご注文ですので、ドリンクが四本サービスになりますが、いかがでしょうか？」

「どんな種類があるんですか？」

「ウーロン茶、ファンタオレンジ、スプライトの三種類がございます」

「では・・・スプライトを三本にファンタオレンジを一本お願いします」

「かしこまりました」

「時間はどれ位かかりますか？」

「湘南台三丁目でしたら、三、四十分位でお届けできますが、道が混んでいますと、もう少しお時間がかかるかもしれません。大体、三時位迄にはお届けできると思いますが、よろしいでしょうか？」

「構いません」

「かしこまりました。それでは、代金のほうが八、一〇三円になりますので」

「あの・・・チラシの割引クーポン券は使えますか？」

「はい、ご利用いただけます。Lサイズのピザが三百円引になりますので、後ほど代金と一緒にお出しください」

「わかりました。ではよろしくお願いします」

受話器を置いて数十分後、篠田家のインターホンが鳴った。三時よりも大分早い配達に感心しながら、篠田は玄関の扉を開けた。